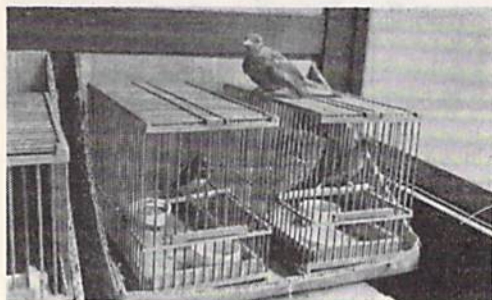


新年の課題と

昨年をふりかえって

動物園長 林田 禮 俣



明けましておめでとうございます。

市民のみなさんから親しまれてきた動物園も、今年の4月で71周年を迎えることになりました。そして長い歳月と世の移りかわりと共に、動物園のあり方も随分かわってまいりました。

むかし動物園は、野生動物を捕えてきてみせる単なる陳列館でしかなかったものが、時代の流れと、そのときどきにおける社会の要求に対応しつつ幾多の変遷をへて、現代では私たち人間の自然へのかけ橋としての重要性が高く評価されてまいりました。かくして動物園と自然保護の関連性が今日ほど強く叫ばれているときはありません。

昨年10月、日本ではじめて開催された第28回国際動物園長連盟総会のテーマにも、このことが大きくとりあげられ、機械文明の発達による自然破壊から——滅び行く動物たちにはどめを——との合言葉で、動物の保護対策が強く主張されました。

もはや動物園は単なるレクリエーションの施設としてだけではなく、動物園の運営自体は勿論のこと、ここを訪れて下さる方々にも協力願って、動物を深く理解していただくと同時に、一歩進んで動物の愛護から保護へと認識を新たにしていただく時代にはいりました。

国においても、鳥獣保護に関する法律は一部改正されて、新たに制定された自然環境保全法と関連しつつ強化され、また昨年10月には、動物愛護思想の向上と動物管理の適正を目的とした、動物の保護及び管理に関する法律をも制定されました。京都市における船橋市長提唱の「みどりのまちづくり」構想も、私たちの暮らしと郷土をまもる自然保護運動にほかなりません。

そのほか、みなさんにご協力願っているおなじみのパンダの募金箱も、世界野生生物基金日本委員会(W.W.F.J)による野生生物保護の運動であり、日本動物園水族館協会でも、釧路のタンチョウや佐渡のトキ、豊岡のコウノトリなど貴重な日本産動物の保護対策に協力しております。

このように今年こそは心を新たにして、私たち人間のよき友である動物の保護に重点をおき、貴重な動物をどんどんふやしていかなければなりません。そしてそうすることがひいては私たちの生活環境をよくするたすけとなるのではないのでしょうか。

次に昨年の動物園をふりかえってみましょう。

先ず4月1日は動物園の開園記念日で、特に創立70周年を迎えこの記念行事が行なわれ、むかし懐かしい園内風景の解説つき写真展示や、記念観覧券などを発売して祝いました。8月1日からの動物園水族館週間には、市内のよい子たちが参加したサマースクールを開き、一般入園者にはガイドツアーを行なって普及活動に力を入れました。更に10月には市制75周年記念行事の一環として無料開園を行なうとともに、市民の中から一日園長をお願いし、動物園についての貴重なご意見を拝聴することができました。

また同じ月に開かれた国際動物園長連盟総会のメンバーが京都市を訪れ、二条城で市長招待の茶会を楽しんだあと動物園を見学しました。

動物の面では、主なもので1月に待望のヨーロッパバイソンがはいり、7月にホッキョクグマがきて充実しました。またキリン、カバ、アシカ、カモシカ、ジャガーなど貴重な動物がどんどん繁殖して、一年を通じて41種、400点が誕生して大きな成果を収めました。

野生鳥獣の保護についても、市内で傷ついで保護されたものをお引受した数は、シカ、キツネ、ムササビ、イノシシ、オオミズナギドリ、ツバメ、クイナ、ケリなど、47種、194点、172件の多きにのぼりました。

施設の面においては、バイソン舎を新設したほか、爬虫類館は建築主体工事をおわり、内部の整備と動物の収容準備にとりかかっており、今春には内外の爬虫類、両生類を沢山入れてオープンする運びとなっております。

とら

ゴンタ(左)と ミミ ▶



寅と虎

動物園で飼っているトラには「虎」という字を書きますが、年賀状などには「寅」と書いてトラの絵がそえてあります。寅と虎の間にはどのような相違があるのかよく知りませんが、広辞苑で両者の字をひくと、「寅」は十二支のトラ、「虎」は動物のトラ、と区別がしてあります。では「寅」は動物のトラとは関係のないトラなのか、というと、そここのところはよくわかりません。が、とにかく今年はトラ年、「寅」にちなんで「虎」の話をします。

トラとライオン

トラとライオンはお隣りどうして飼っていますが、ライオンはアフリカの動物、トラはアジアの動物です。ライオンは草原で群れ生活をしているのに対し、トラは森林で孤独な生活をしています。また、ライオンのオスは立派なタテガミをもっていますがトラにはそれがなく、かわりにオス・メスともに派手なしま模様があります。このように、トラとライオンの間にはいろいろなちがいがありますが、大変よく似ているところもあります。それは「皮の下」です。ひと皮剥けば……ということばがありますが、トラとライオンの皮を剥いでしまえば、ちょっとみたところでは、どちらがトラでどちらがライオンだか区別できないほどよく似ています。トラの方が胴長で股が短いぐらいの差だけです。

トラの種類

トラの原産地はシベリアですが、氷河時代には、ユーラシア大陸のほぼ全域に分布していました。だんだん住む所が狭められ、現在では右上の地図に示したところにすんでいるにすぎません。

シベリアトラのように寒冷な北の方にすんでいるトラは、体格が大きくて被毛は長く色がうすく、だんだ

ん南の暖かい方にゆくにしたがって、体つきが小さく色は濃く、被毛は短くなっています。したがって、それらの差により一応次の9亜種に分けられていますが、分類学者により、多少異なります。シベリアトラ（アムールトラ、マンシュウトラ）・チョウセントラ・アモイトラ・ベンガルトラ（インドトラ）・スマトラトラ・ジャワトラ・バリトラ・ロブノールトラ・ベルシヤトラ。



(最近のトラの生息地)

トラの天敵

トラのえさとなる動物は、もともとシカやレイヨウ・イノシシなどの草食動物ですが、サルやヤマアラシなどもたべ、カメや魚、バッタにいたるまで、飢えているときには、すべてのものが獲物となります。また、ゾウやサイもトラの攻撃をうけ、ことにこどもはトラの餌食になります。人間もときには襲われ、インドなどでは「人食いトラ」としておそれられていることもあります。1000頭のうち3〜4頭はこのようなトラがでると推定している人もあります。

このように、トラはあらゆるものを餌とすることができます。一方、トラを食料にする動物はいないので、普通に考えれば、トラはどんどんふえつづけるはずなのですが、実はそうではありません。ふえつづけるどころか、今では全滅の一手前まできており、このままほうっておけば、それ程遠くない将来に地球上

から消えてしまいかねない状態です。トラを減ぼす原因はいったい何でしょうか。実は、トラにも天敵がいるのです。トラの天敵、それは人間です。黄色と黒のあざやかなしな模様、トラにとってそれは不幸な衣類でした。人間はこの美しい毛皮はしさに、銃という便利すぎる道具で、どんどんトラを殺害していききました。単なる装飾品とするだけの目的で、あるいはハンターの腕自慢を誇示するただそれだけのために射ちつくされ、気がついてみた時には、滅亡の一手手前まできていたという訳です。人食いトラとなって暴れているトラや、家畜を襲って被害を与えるトラもいます。生命を奪わざるを得ない事態も、数ある中にいくらかはあるでしょう。しかし、トラだって人間に貢献もしているのです。1頭のトラが1年間に食べる肉の量は、中型レイヨウ30~50頭ほどになります。トラが減れば草食動物がふえすぎ、畑の作物に大きな被害を与えます。げんに、マラヤなどでは、トラのこのような効用がいられているということです。

トラだけに限りません。美しい毛皮をもっている肉食動物のヒョウ・チーター・ジャガー・ウンピョウ・ユキヒョウなど、すべてがトラと同じ運命をたどっているのは悲しいことです。

ゴンタとミミ

私たちの動物園では、いまオス・メス2頭のトラを

飼っています。オスはゴンタ君、メスはミミちゃんといえます。市内の小学生と中学生がつけてくれた名前です。

ゴンタ君は昭和46年10月28日に、大阪の天王寺動物園で生まれました。ゴンタ君の母親はたいへん子ばんので、一緒に生まれたもう1頭の兄弟と、えさのと方から泳ぎかた、はては人間に対する警戒のしかたまでたっぷりと教育をうけて、47年7月26日に京都へやってきました。一方、ミミちゃんの方は、昭和46年6月8日に九州の到津動物園で生まれました。こちらの母親は育児がきらいとみえて、子供の面倒をみようとしなかったで、人の手で育てられ、1才をすぎた47年6月26日にこの動物園へきました。

それぞれの生い立ちがちがうのを反映して、性格も全く異なっています。ゴンタ君は母親に十分言い聞かされているだけあって、人をみるとマユをさかだててはえ、人間嫌いになっています。これに反してミミちゃんは、育ての親が人間であるため、トラよりも人が好きになってしまい、ゴンタ君を当惑させています。

今年はゴンタ君とミミ君の年。2頭とも今年の誕生日で満3才になります。少年期から青年期への移行期です。立派に成長してたくさん子供をのこし、次のトラ年の時にはもう1回、ゴンタ君とミミちゃんの12年間にについてや、彼らの子供達の話話をいっぱい報告できるように育ててほしいものと願っています。(Y)

「世界の 動物園長さん達来訪」

世界中のおもだった動物園・水族館の園長さん達約50名が京都市動物園を訪れました。

この園長さん達は、東京と愛知県犬山で開かれた第28回国際動物園長連盟総会に出席した後、最終日の11月30日に京都市動物園を見学し、夜、市内のホテルで開かれた日本動物園水族館協会主催のサヨナラパーティーで「はたの光」におくられながら、それぞれの動物園へ帰っていききました。

9日間の日程の間に総会が2回、研究会が3回もたれました。研究会ではイルカやアシカなどの海獣類の飼育に関する問題や、世界の動物園がいま真剣にとりくんでいる課題の1つである自然を守っていくために動物園がなすべき役割について、熱心な討論が重ねられました。また、一時期マスコミをにぎ



わしたジャイアントパンダについては、あい前後して中国から贈られたアメリカのワシントン動物園と東京の上野動物園から習性やえさの問題、繁殖の可能性などについての興味ある報告がありました。

園内を見学を終えた各国の園長さん達に感想を聞いてみると、「せまいけれども園内が大変きれいでス。ゴリラやカモシカ、それにフラミンゴなど貴重な動物がよく繁殖していてワンドフルな動物園デス」と口々にほめてくれました。(Y)

動物豆知識

『刷りこみ』

最近、人間も含めた動物の行動に関する研究がさかんようです。その中で良く使われる「刷りこみ」という言葉をとり上げてみました。手短かにいうと、印刷関係の刷りこみでは、その手段が活字で、対象は紙ということになりますが、動物での刷りこみの対象は脳みそであり、手段は音声とか見よう見まねといったもので、姿のない活字ということが出来ます。本能とは違い、出生後における学習過程の、しかもその初期段階で行なわれる種特有の必要事項が脳みそにたたき込まれるわけです。動物の子供が出生後に親を親として認識するのも刷りこみによるものですし、その認識に必要な時間は、動物の種類によって異なり、その子が早熟型であるか、晩熟型であるかによっても違いがあるようですが、問題になるのは刷りこみ違いが起った場合です。

極端な例ですと、狼少年のような例が挙げられます。ある日突然発見されたこの少年は、人の言葉を喋ることが出来ず、四つん這いで歩き、その発声や

行動はオオカミに似ていて、どうやらオオカミに育てられたものではないかということになったのでした。

果から落ちて、昨年8月12日と15日とに動物園に届けられた赤裸のスズメの兄弟は、一人前のスズメに成長したものの、ちょうどその頃、1カ月程育てられて放鳥されたヒヨドリが、開け放しの窓から出入りが自由だったので、頻りにやって来てはヒヨドリの歌（この歌も実は正調ではなかった）を歌っていたものですから、先に来た方のスズメのひなが、これこそわがたちねの声と聞き違い、誤まった刷りこみを受けてしまったらしく、ヒヨドリの声を出すスズメになってしまいました。このスズメ達は今でも窓のすき間から室内に入ってきて遊んでいます。今年、恋のシーズンに果して相手を見付けることが出来るかどうか。親代りの我々を心配させています。

人工哺育で育てられたアカゲザルは、仲間に対する認識がなく、飼育係に秋波を送るシュバシコウなど、人工的に育てられた場合には往々にして刷りこみ違いが起り易く、後々に重大な欠陥となりかねないので、刷りこみ違いの起らないような養育は大変難しいようです。(A.T.)

《できごと》

☆10月7日

京都市自治75周年記念行事の一環として次の方々に一日園長・副園長をお願いしました。一日園長高橋秀之介氏、一日副園長川端宏幸君・高田はづみさん。

園内の施設を本物の園長の案内で視察された後、一日園長は、子供達が集まって勉強できる動物教室のような施設をつくるべきであると、主張されました。

☆10月15日

加療中のニホンカモシカが死にました。このカモシカは昭和37年1月10日に滋賀県土山町大河原で捕獲したオスで、4頭の子供をのこし、動物園でのカモシカ飼育に貢献しました。死因は股関節脱臼による衰弱。飼育期間は11年9月5日でした。

☆10月29日

ゴリラの子供「マック」はこの日、満3才の誕生日を迎えました。体重測定の結果28kgで、生まれた時の約12倍になりました。ますます元気です。

☆11月12日

「京都府の鳥」オオミズナギドリが南の国へ渡る途

中、今年も市内や近郊にたくさん落ちました。そこで、この日、和歌山県の有田川川口から太平洋に向けて飛ばしてやりました。オオミズナギドリは、ほかの鳥のように地面から直接飛びたつことができないのです。

☆11月13日

猿ガ島に大混乱がおきました。ボスのコータロー君が、残りの5頭のオスに全身かみつかれ、キンタロー君に王座を奪われてしまったのです。ところが、コータロー君にはハンディキャップがありました。彼は2年前の出産シーズンに、生まれたての赤ん坊をかみ殺したので、犬歯を抜かれています。それで反撃できなかったのです。コータロー君の治療と並行して、オス5頭の犬歯もぬきました。

☆12月2日

重油の不足は動物園にとっても無関係ではありません。動物舎の暖房用重油は必要量だけ何とか確保したいと思いますが、とりあえずこの日から日中の暖かい時だけはボイラーをとめることにしました。(Y)

■ 第8号の発行は、4月1日の予定です ■